

日本社会情報学会通信

Vol.21 No.1 2005.12.1

日本社会情報学会

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4-408

TEL 0422-40-2062 FAX 0422-40-2062

E-mail jasi@jade.dti.ne.jp

U R L <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>

☆ 会 長 挨 拶 ☆

【平成18年度事業計画の方針と役員体制】

日本社会情報学会 会長 遠藤 薫

みなさま、日ごろ日本社会情報学会の活動に活発なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、このたび私は、平成17年9月12日開催の総会におきまして、日本社会情報学会会長に選出されました。会員の皆さまのご参加とご支援をいただきまして、太田敏澄前会長のご努力を継ぎつつ、本学会のさらなる発展のために微力を尽くす所存です。

社会情報学会の使命は、情報や知識の重視される社会の到来、またそれをさらに推進するユビキタス・ネットワーク技術の発展などにより、今後ますます重要性を増していくと考えられます。(その詳しい内容については、日本社会情報学会のサイト <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/> をご参照下さい)。

また、社会情報学は、その本質上、学際的、分野横断的な性格をもったディシプリンです。このことを踏まえて、関連諸学協会はもとより、広く産官学民との協働を推進し、オープンでフレキシブルな学会を実現したいと考えております。

そして、理論と実践を統合した新時代のアカデミズムの構築を皆さまとともに図っていきたいと考えております。

以上の考えから、次のような平成18年度事業計画を策定いたしました。

みなさまのいっそう積極的なご参加とご支援をお願いいたします。

<平成18年度事業計画>

1. 問題解決に資する学会を目指す

◇ 日本社会情報学会は、産官学民の協働をすすめます。

2. 幅広い学術的交流の推進

◇ 全国大会（JASI・JSIS 合同大会を予定）を秋に学習院大学で開催します

◇ 年数回、特定のテーマにそった定例研究会を開催します

◇ 年数回、情報政策に特化した情報政策研究会を開催します

◇ 自由なテーマで組織された研究部会の例会を開催します

◇ 地方支部の支部研究会を開催します

◇ 他学会との協働によるオープンなシンポジウムを開催します

3. 会員増加を図る広報活動の推進

4. 学会活動全般の活性化に資する方策についての会員の意見・提言の積極的な実現

◇ 評議員会を開催します

◇ 常任委員会を開催します

<平成18年度役員体制> (敬称略)

[会長] 遠藤 薫 学習院大学法学部 教授
 [副会長] 須藤 修 東京大学大学院情報学環・学際情報学府 教授
 廣松 毅 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 教授

<常任委員長> *兼任

・常任理事 前田 隆正
 ・総務委員会 *須藤 修 ・企画委員会 福田 豊
 ・学術委員会 *廣松 毅 ・表彰委員会 小菅 敏夫
 ・事務局 和泉 恵子

<支部長>

・関西支部 小郷 直言
 ・九州支部 財部 忠夫
 ・中部支部 内田 哲治

[監査人]

田村 紀雄 東京経済大学
 尾関 敬二 特別区職員研究所

[理事] 50音順

安藤 明之 東京経済大学コミュニケーション学部 教授
 今井 雄一 トップラン・フォームズ(株) 執行役員・企画本部長
 内山 哲治 名古屋産業大学環境情報ビジネス学部 教授
 海野 忍 (株)NTTデータ 執行役員 第三公共システム事業本部長
 太田 敏澄 電気通信大学大学院情報システム学研究科 教授
 清原 慶子 三鷹市 市長
 熊田 禎宣 千葉商科大学政策情報学部 教授
 國領 二郎 慶応義塾大学環境情報学部 教授
 小郷 直言 大阪大学大学院経済学研究科 助教授
 小菅 敏夫 デジタルハリウッド大学 教授
 五藤 寿樹 聖徳大学人文学部現代ビジネス学科 助教授
 小林 宏一 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科 教授
 小向 鋭一 東洋オフィスメーション(株) 常務取締役
 坂野 達郎 東京工業大学大学院社会理工学研究科 助教授
 真田 英彦 追手門学院大学経営学部 教授 総合情報教育センター長
 島田 達巳 摂南大学経営情報学部 学部長・教授
 財部 忠夫 中村学園大学流通科学部 教授
 玉井 弘明 東日本電信電話(株)ビジネスユース事業推進本部取締役副本部長
 茶谷 達雄 都市情報システム研究所 所長
 辻井 重男 情報セキュリティ大学院大学 学長
 刀川 眞 (株)NTTデータ 開発本部システム科学研究所 主任研究員
 富永 英義 早稲田大学大学院国際情報通信研究科 教授
 富山 慶典 群馬大学社会情報学部 教授
 中井 豊 芝浦工業大学システム工学部 教授
 長島 雅則 (株)インフォマティクス代表取締役社長
 根本 敏則 一橋大学大学院商学研究科 教授
 鳩山 由紀夫 衆議院議員
 濱田 純一 東京大学大学院情報学環
 平野 浩 学習院大学法学部政治学科 教授
 平林 幹朗 キャリア・アップ企画 代表
 福田 豊 電気通信大学人間コミュニケーション学科 教授
 藤原 博彦 明治大学情報コミュニケーション学部 助教授
 前田 隆正 「あすのまち・三鷹」推進協議会 会長
 宮崎 緑 千葉商科大学政策情報学部 助教授
 安本 哲之 情報システム監査(株) 参与
 山森 俊彦 エヌ・ティ・ティ・データクリエイション(株)代表取締役社長
 渡辺 慶和 岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授

☆ 第21回全国大会研究発表募集のお知らせ ☆

学術委員会 委員長 廣松 毅

第21回全国大会におきます研究発表を募集いたします。

研究発表は、1件につき30分を予定しています。研究発表のテーマと致しましては、広く社会における情報に関する最先端の論題、高度情報社会、社会システム、政治システム、経済システム、行政システム、医療システム、教育システム、法体系、地域・自治体・生活社会の情報化、電子政府・電子投票・電子商取引・電子コミュニケーション、仮想社会・仮想組織、インターネット・イントラネット・エクストラネット、など自由にお考え下さい。

第20回全国大会におきます研究発表につきましては、大会終了後に研究発表賞選考委員会を開催し、座長の方および大会参加者の方々の投票にもとづきまして、第9回研究発表賞の選考を行う予定に致しております。なお、第8回研究発表賞受賞者の方々のお名前、ご発表表題につきましては、本学会通信に掲載いたしておりますので、ご参照下さい。

改めて、本件に関する詳細を別途ご案内いたしますので、多数の皆様のご発表をお待ちしております。奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

★第21回全国大会の開催要綱が第2回理事会（H18.1.23開催）にて決定いたします。

決定後、下記の詳細をご案内いたします。

<第21回全国大会開催日、会場> (予定)

日 時： 平成18年9月12日（火）13日（水）14日（木）

会 場： 学習院大学 〒171-8585 東京都豊島区目白1-5-1

大会事務局 / 学習院大学

<第21回全国大会研究発表申込要領>

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1) 発表申込締切日 | *平成18年5月26日（金） |
| 2) 発表申込要領 | |
| 3) 論文集原稿締切日 | *平成18年6月30日（金） |
| 4) 研究発表論文原稿執筆要領 | |
| 5) 申込先 | |

☛ 詳細ご案内予定

*平成18年2月末 学会ホームページに掲載。(http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/)

*平成18年4月1日発行の学会通信に掲載。

(本件に関する問合せ 学会事務局 TEL 0422-40-2062 / Mail jasi@jade.dti.ne.jp)

☆ 第20回 日本社会情報学会全国大会報告 ☆

第20回全国大会実行委員長
真田 英彦 (追手門学院大学)

平成17年9月12～14日に開催された第20回日本社会情報学会(JASI)全国大会並びに、社会情報学フェア2005は、延べ約749名の参加者を集め、盛況のうちに幕を閉じました。基調講演、社会情報学国際シンポジウム招待講演、社会情報学フェア特別企画、JASI・JSIS合同ワークショップ(5件)、自治体ワークショップ(2件)、一般研究報告(71件)が3日に渡り開催されました。これもひとえに会員皆様の熱意の表れと存じ、深く感謝いたします。また、本大会にご協賛戴きました団体・企業の方々に心より御礼申し上げます。

【開催内容】 社会情報学フェア2005

【主催】 京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻

京都大学COE「知識社会基盤構築のための情報学拠点形成」

日本社会情報学会(JASI) 日本社会情報学会(JSIS)

【開催期日】 平成17年年9月12日(月)～14日(水)

【会場】 京都大学吉田キャンパス 百周年時計台記念館ほか

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

【オープニング&基調講演、社会情報学国際シンポジウム招待講演、社会情報学フェア特別企画】
(百周年時計台記念館百周年記念ホール)

9月12日(月)

<Social Informatics Fair 2005 Opening Speech> (13:00 - 13:30)

真田英彦(追手門学院大学) 日本社会情報学会(JASI)全国大会実行委員長

阿部圭一(静岡大学情報学部) 日本社会情報学会(JSIS)大会実行委員長

石田 亨(京都大学社会情報学専攻) 社会情報学フェア2005実行委員長

<Invited Talk of International Symposium on Social Informatics> (13:30 - 14:30)

Suzi Iacono, Program Director Information and Intelligent Systems Division Directorate
for Computer and Information Science and Engineering National Science
Foundation (NSF)

“Cyberinfrastructure in the Making: Getting There from Here”

<社会情報学フェア特別企画 招待講演> (17:45 - 18:30)

村上輝康(株式会社野村総合研究所 理事長)

「情報技術パラダイムの誕生 -ユビキタスネットワーク・パラダイムはどう伝播したか-」

9月13日(火)

<Invited Talk of International Symposium on Social Informatics > (13:30 - 14:30)

Barry Wellman, Centre for Urban & Community Studies, University of Toronto

“Connected Lives: The Project”

<International Symposium on Social Informatics Panel> (15:00 - 17:30)

“City and Information”(JASI & JSIS Joint Annual Convention)

<社会情報学国際シンポジウム (JASI・JSIS 合同企画) >

Coordinator:

Kaoru Endo (Faculty of Law, Gakushuin University)

Toshiyuki Masamura (Graduate School of Arts and Letters, Tohoku University)

Speaker:

Cheng-Min Feng, Institute of Traffic and Transportation National Chiao Tung University
 “The Impact of Information and Communication Technologies on Logistics Operations”
 Toru Nishigaki, Graduate School of Interdisciplinary Information Studies, University of
 Tokyo

“Hyper-Polarization of Society”
 Carlo Ratti, SENSEable City Laboratory, MIT
 Toshizumi Ohta, Graduate School of Information Systems, University of
 Electro-Communications
 “Auto-Genesis Paradigm and e-Community”

9月14日(水)

<Invited Talk of International Symposium on Social Informatics> (11:45 - 12:45)
 Hsiao-Wuen Hon, Assistant Managing Director of Microsoft Research Asia (MSRA)
 “MSRA experience: doing R&D in China and Asia”

<社会情報学フェア特別企画 トークセッション> (14:00 - 17:30 国際交流ホールII)

「“メディア戦争”時代を考える：多メディア時代の世論形成」

司会 喜多千草(関西大学)

ディスカッサント

遠藤 薫(学習院大学法学部) 林 良久(龍谷大学文学部) 神田敏晶(KNN 代表)
 筑瀬重喜(朝日新聞社)

1日目 9月12日(月)

A1-1 行政情報化I (工学部物理系校舎101) 座長:松田貴典(大阪市立大学)

「後発開発途上国における行政情報化の効果—ブータン王国道路安全交通局の事例—」

宮田真弓(京都大学), 松井啓之(京都大学)

「自治体の法定業務における基幹システムの標準システムの構築」

藤岡泰博(大阪市立大学), 中野秀男(大阪市立大学)

A1-2 WEBマーケティング(工学部物理系校舎216) 座長:篠原健(追手門学院大学)

「高齢化時代のWEBマーケティングを考える」 鶴坂貴恵(大阪府立産業開発研究所)

「サービス業におけるウェブ広告の効果的な表現形態」 青山温子(大阪大学), 中島望(大阪大学)

A1-3 ネット社会I(工学部物理系校舎313) 座長:高瀬宜士(帝塚山大学)

「保育者支援を重視した「e-子育てNETシステム」の提案」

新谷公朗(常磐会短期大学), 糠野亜紀(常磐会短期大学), 笹田慶二郎(同志社大学),

金田重郎(同志社大学)

A1-4 組織論I(工学部物理系校舎212) 座長:文能照之(近畿大学)

「競争と協調のバランスとその効果について —CoCoゲームを利用して—」 田窪美葉(大阪国際大学)

「民間非営利組織の制度的環境への適応戦略

—新制度派組織論と資源依存理論の視点からの理論的分析枠組み—」

井上祐輔, 高瀬曜, 太田雅晴, 川村尚也(大阪市立大学)

A1-5 企業情報化I(工学部物理系校舎213) 井戸田博樹(大阪成蹊大学)

「酒販売免許の規制緩和と中小酒屋の経営戦略—株式会社KLCネットワークシステム—」

王強華(追手門学院大学), 岩下安男(大阪エクセレントIDC), 黒目哲児, 篠原健,

真田英彦(追手門学院大学)

A2-1 行政情報化II(工学部物理系校舎101) 座長:五藤寿樹(聖徳大学)

「自治体CRMにおけるコールセンタについての—考察」 仲川貴清, 久保貞也, 島田達巳(摂南大学)

「住民情報を扱う電算システムの変遷と現状」 藤本吉則(東北大学)

「地方自治体情報化の社会的推進体制に関する考察」

西出哲人(兵庫県立大学), 山下恵司(大東市役所), 田窪美葉(大阪国際大学),

水谷直樹(奈良産業大学), 真田英彦(追手門学院大学)

A2-2 電子自治体I(工学部物理系校舎216) 座長:須藤修(東京大学)

「公共団体等におけるEA導入の可能性」 宗平順己(株式会社オービス総研)

「全国自治体の電子化進展と市民志向に関する考察」

神田章弘 (東京工科大学) , 平本一雄 (東京工科大学)

「自治体の電子化レベルに関する実証的研究」東川輝久, 久保貞也, 島田達巳 (摂南大学)

A2-3 ネット社会Ⅱ (工学部物理系校舎313) 座長: 中井豊 (芝浦工業大学)

「行政のリスク情報開示の累積プロスペクト理論によるゲーム表現」

梅原英一 (野村総合研究所) , 太田敏澄 (電気通信大学)

「オンライン・コミュニティと信頼」榎本光世 (桃山学院大学) , 太田雅晴 (大阪市立大学)

「地域eコミュニティ形成要因についての一試論」石倉健 (電気通信大学)

A2-4 組織論Ⅱ (工学部物理系校舎212) 太田雅晴 (大阪市立大学)

「パーソナルネットワーク形成を支援する独り言共有システムの試作と評価」

加藤義彦, 中田豊久, 三浦元喜, 藤波努, 國藤進 (北陸先端科学技術大学院大学)

「組織的知識創造における相互信頼関係明示化手法の検討」

柳原秀基 (大阪市立大学) , 中野秀男 (大阪市立大学)

「ネットワーク構造を考慮したIPDにおける協調関係の考察」

石田芳文 (電気通信大学) , 山本仁志 (立正大学) , 岡田勇 (創価大学) , 太田敏澄 (電気通信大学)

A2-5 企業情報化Ⅱ (工学部物理系校舎213) 座長: 根本敏則 (一橋大学)

「スキャナー・データを用いたエンド・スペースの価値評価の試み」

曹向輝 (大阪大学) , 中島望 (大阪大学)

「中小企業のICT化推進における行政支援に関する研究—東大阪市と大田区の調査分析を通じて—」

文能照之 (近畿大学) , 井戸田博樹 (大阪成蹊大学)

「仕様情報の相互理解を軸とした企業間協業モデルとその効果」

菱山玲子 (京都女子大学) , 石田亨 (京都大学)

A3-1 地域コミュニティと情報化Ⅰ (工学部物理系校舎101) 座長: 福田豊 (電気通信大学)

「地域における市民参加の動機づけに関する研究」並木志乃 (東京大学)

「中山間地域におけるeビジネスによる地域振興に関する研究

—熊本県・五木村、徳島県・木頭村、和歌山県・北山村を事例として—」山本佳世子 (名古屋産業大学)

「韓国コミュニティFMの幕開け—地域メディアにおける市民参加の一環として」

姜英美 (東京経済大学)

A3-2 電子自治体Ⅱ (工学部物理系校舎216) 座長: 住田友文 (秋田県立大学)

「自治体の推進体制に着目した電子自治体の推進方向に関する研究—新潟県における自治体調査から—」山口直人 (新潟国際情報大学) , 草瀬美緒 (オフィスティースクエア)

「電子自治体とネットワーク・ガバナンス」古坂正人 (東京大学)

A3-3 ネット社会Ⅲ (工学部物理系校舎313) 座長: 富山慶典 (群馬大学)

「電子コミュニティにおけるコミュニケーション構造の類型化—藤沢市民電子会議室の実証分析—」

平本一雄 (東京工科大学) , 林玲 (東京工科大学) , 望月香菜子 (いすゞ情報システム)

「情報倫理浸透のための能動的な対策を考える」上原幸司 (東京経済大学)

「ピアレビュー掲示板における評判情報の研究」庭田和典, 中井豊, 新津善弘 (芝浦工業大学)

A3-4 リスクマネジメントⅠ (工学部物理系校舎212) 座長: 小菅敏夫 (電気通信大学)

「IT内部統制のフレームワーク」石島隆 (大阪成蹊大学)

「個人情報の利活用に求められる企業の社会的責任—信頼関係から信認関係へ—」

飛田治則 (大阪市立大学)

「情報プライバシー認識測定指標の検証」佐藤修 (東京経済大学) , 安藤明之 (東京経済大学)

A3-5 企業情報化Ⅲ (工学部物理系校舎213) 座長: 小林宏一 (東洋大学)

「SOHOを核とするコミュニティ創成のためのコーディネーターの役割

—三鷹市におけるケース・スタディー—」前田 隆正 (三鷹市)

「情報産業の産業連関分析—通信、放送、広告産業を中心として—」塚原 康博 (明治大学)

「バーコードからRFID転換における環境コスト算定の事例研究」

傘義冬 (電気通信大学) , 太田敏澄 (電気通信大学)

2日目 9月13日 (火)

A4-1 地域コミュニティと情報Ⅱ (工学部物理系校舎101) 座長: 松井啓之 (京都大学)

「地域情報形成における地域メディアの役割ー地域紙とCATVに関する考察を媒介としてー」

牛山佳菜代 (東京経済大学)

「大阪市におけるIT拠点構想とその課題」中野秀男, 三宅正之, 神野智子 (大阪市立大学)

「地域情報化と活性化に関する一考察」岡本隆 (愛媛大学)

A4-2 電子自治体Ⅲ (工学部物理系校舎216) 座長:新川達郎 (同志社大学)

「電子自治体の整備状況と財政指標の関係に関する基礎的研究」

生田晃章 (静岡大学), 佐藤哲也 (静岡大学)

「公共IDCの事業戦略策定に関する一考察」

岩下安男 (大阪エクセレントIDC), 高瀬宣士 (帝塚山大学), 篠原健, 黒目哲児, 真田英彦 (追手門学院大学)

「日本型行政制度下における電子自治体の課題」

山下恵司 (大東市役所), 岩下安男 (大阪エクセレントIDC), 黒目哲児, 篠原健, 真田英彦 (追手門学院大学)

A4-3 ネット社会Ⅳ (工学部物理系校舎313) 座長:水谷直樹 (奈良産業大学)

「Community-basedなネットワーク社会の特徴ー韓国と日本の比較ー」

蔡洙榮, 金HyunChul, 小郷直言 (大阪大学)

A4-4 リスクマネジメントⅡ (工学部物理系校舎212) 座長:中野節子 (情報システム監査)

「情報セキュリティ確保のモデル化に関する研究」畠山尚久 (電気通信大学)

「情報セキュリティ投資に関する企業レベルの実証研究」田中秀幸 (東京大学)

「個人情報保護法全面施行に伴う企業の対応とその取り組み状況の実際

ープライバシーマーク認証取得支援サービス活動を通じてー」

山本元之, 下妻勝, 鈴木章彦 (情報システム監査株式会社)

A4-5 大学と教育システムⅠ (工学部物理系校舎213) 座長:熊田禎宣 (千葉商科大学)

「大学の入試市場におけるポジショニング」嶋崎真仁 (秋田県立大学), 住田友文 (秋田県立大学)

「公立大学の収支構造に関する実証的研究」住田友文 (秋田県立大学), 嶋崎真仁 (秋田県立大学)

「環境問題解決のための環境教育に関する調査研究」

諏訪博彦 (電気通信大学), 山本仁志 (立正大学), 岡田勇 (創価大学), 太田敏澄 (電気通信大学)

A5-1 地域コミュニティと情報化Ⅲ (工学部物理系校舎101) 座長:和泉潤 (名古屋産業大学)

「多層化する情報技術の社会的インパクト」福田 豊 (電気通信大学)

「生活者の視点と医療情報」国島義明 (株式会社富士通総研)

「若者世代における携帯電話の利用実態の変化に関する地域別比較研究」毛利康秀 (日本大学)

「イベント情報のワンストップ化ーNewsMLを用いた広報情報発信システムー」

井上明 (甲南大学), 小林聰, 永井智子, 佐野嘉紀, 金田重郎 (同志社大学)

A5-2 ネット社会とメディア (工学部物理系校舎216) 座長:佐藤佳弘 (情報文化総合研究所)

「大衆消費著作物における配信事業者の影響力が成立する条件についての研究」榎島榮一 (東京大学)

「新ファッショントレンドにおけるメディア戦略ーマルチエージェント・シミュレーションによるアプローチー」Mascia Mario (大阪大学), 中島望 (大阪大学)

「モバイル・インターネットの普及過程の分析」藤原正弘 (東京大学)

「コンテンツの経済分析ーポスト産業資本主義の利潤創出ー」菅原進 (電気通信大学)

A5-3 ネット社会Ⅴ (工学部物理系校舎313) 座長:氷鮑揚四郎 (筑波大学)

「インターネット掲示板にみる社会的関心と株価変動の関係」

山下一雄 (静岡大学), 石上隆達 (静岡大学), 佐藤哲也 (静岡大学)

「ネットワーク空間とリアリティとの結合に関する一考察」永野寛 (情報通信総合研究所)

「ブロードバンドが変えるメディアビジネスの未来」高森健一 (東日本電信電話会社)

「評判管理システムにおける個人の情報行動の分析: 仮想市場を用いた実験的アプローチ」

山本仁志 (立正大学), 石田和成 (東京農業大学), 太田敏澄 (電気通信大学)

A5-4 情報リテラシーとコミュニケーション (工学部物理系校舎212) 座長:安藤明之 (東京経済大学)

「情報リテラシーとQOL向上のための新指標の開発に関する研究」

坂部創一(創価大学), 谷内智之(吉川松伏消防組合消防本部), 新井哲郎, 清水裕史, 関口義一(創価大学)

『生活の情報化』=指標の構成項目を抽出するための基準に関する一考察」道勇美奈(電気通信大学)

「言説分析による“ユーザーフレンドリー”概念の検討」今江崇(電気通信大学)

「機械翻訳によるリアルタイム異文化コミュニケーション」

一色 浩, 川添博史, 国司輝夫(GIS総合研究所)

A5-5 大学と教育システムⅡ(工学部物理系校舎213)

座長: 増田祐司(島根県立大学)

「コンピュータ化したグループ議論の教育分野への適用に向けた検討」

伊藤京子, 大森裕介, 西田正吾(大阪大学)

「創造的なeLearningシステムのデザインに向けて—インタラクティブな学習環境構築の可能性と課題—」河又貴洋(県立長崎シーボルト大学)

「大学におけるITシステムの要件」高野友貴子(一橋大学), 山本秀男(一橋大学),

「ネットコミュニケーションを図った課題提出方法の提案」小林正樹(大阪国際大学)

1日目 9月12日(月)

JAS I 主催ワークショップ (百周年時計台記念館 国際交流ホールⅡ)

テーマ: 「情報セキュリティの法と倫理」

オーガナイザ: 櫻井成一朗(明治学院大学)

(報告者) 林紘一郎(情報セキュリティ大学院大学 副学長)

2日目 9月13日(火)

JAS I 自治体ワークショップ1 (百周年時計台記念館 国際交流ホールⅠ)

テーマ: 「電子自治体システムの構築～オープンシステム化と共同アウトソーシング～」

コーディネータ: 茶谷達雄(都市情報システム研究所)

(報告者)

(斎藤一雅), 村岡嗣政(総務省地域情報政策室) 原田 智(京都府電子府庁推進室)

真茅純一(岡山市情報政策課) 津田邦和(NPO:ASPIC-Japan)

JAS I 自治体ワークショップ2 (百周年時計台記念館 国際交流ホールⅠ)

テーマ: 「自治体の情報セキュリティ対策」

コーディネータ: 戸谷寿夫(関西情報化維新協議会・地方自治情報センター)

(報告者)

(吉田 稔), 南 晴久(西宮市情報政策部) 中村俊二(宇治市IT推進課)

寺嶋義和(枚方市情報政策課) 川端純一(敦賀市情報政策課)

ポスター (百周年時計台記念館 国際交流ホールⅡ,Ⅲ)

「eからiへ—多層化するITのインパクトと主体的な市民参加—」

和泉恵子(所属: NPO法人iコミュニティ)

「目白プロジェクトの始動—地域と学生が協働する—」

e-democracy研究会(学習院大学)

3日目 9月14日(水)

JAS I・JSIS合同ワークショップ1(工学部物理系校舎216)

テーマ: 「こうすれば地域は元気になる～社会情報学の視点から～」ISAC(アイザック)研究部会主催

オーガナイザ: 中嶋開多(信州大学)

(報告者) 村岡元司(NTTデータ経営研究所)

(パネリスト)

上村 正美(阪急電鉄) 加藤幹夫(文部科学省) 刀川 眞(NTTデータ)

村岡元司(NTTデータ経営研究所)

JAS I・JSIS合同ワークショップ2(工学部物理系校舎313)

テーマ: 「GIS、GPSの社会情報学における役割」

オーガナイザ: 川添 博史(GIS総合研究所)

(報告者)

森洋久（国際日本文化研究センター） 一色浩（数理解析研究所）

高木悟（YRPユビキタスネットワークワーキング研究所） 宮澤弦（株式会社シリウステクノロジーズ）

JASIS・JISIS合同ワークショップ3（工学部物理系校舎315）

テーマ：「地域産業の情報化を考える」

オーガナイザ：宗平順己（株式会社オーグス総研）

（報告者）藤原正樹（NPO法人ITコーディネータ京都） 宗平順己（株式会社オーグス総研）

（パネリスト）

藤原正樹（NPO法人ITコーディネータ京都）

洲崎章弘（NPO法人ITコーディネータ京都）

中川普巳重（NPO法人ITコーディネータ京都）

中村久吉（NPO法人ITコーディネータ京都）

JASIS・JISIS合同ワークショップ4（工学部物理系校舎212）

テーマ：「行政と企業の電子化と個人情報保護」

オーガナイザ：岡田安功（静岡大学）問題提起者：藤井史朗（静岡大学）他

JASIS・JISIS合同ワークショップ5（工学部物理系校舎213）

テーマ：「ケータイ、ネット利用と国民性：インタラクティブ・メディア利用は国民性を反映するか」

オーガナイザ：吉井博明（東京経済大学）

問題提起者：山中千恵（大阪大学）：韓国の若者文化からみたメディア利用

石井健一（筑波大学）：台湾におけるメディア利用研究

林香織（江戸川大学）：日韓台の携帯、インターネット利用比較調査の結果

☆ 第8回研究発表賞受賞者報告 ☆

< 第20回全国大会研究発表 >

選考委員会委員長 小菅 敏夫
(学術委員会/表彰委員会)

18年9月12日-14日に行われた第20回日本社会情報学会での一般研究報告のなかから、座長およびコメンテータの評価と大会参加者の投票にもとづき、下記に対して日本社会情報学会大会研究発表賞を授与することとし、理事会の承認を得ました。

その結果をご報告いたしますとともに、その榮譽をたたえ、研究発表論題をここに掲載いたします。

受賞者の方々には、次回大会の総会におきまして、会長より賞状を授与いたします。

(敬称略)

☆ 発表表題	「環境問題解決のための環境教育に関する調査研究」
発表者	諏訪博彦 (電気通信大学) , 山本仁志 (立正大学) , 岡田勇 (創価大学) , 太田敏澄 (電気通信大学)

*受賞者の発表要旨は、「第20回全国大会研究発表論文集」に掲載。

☆ 平成17年度総会報告 ☆

日 時 平成17年9月12日(月) 16:30~17:00
会 場 京都大学吉田キャンパス工学部物理系校舎313

[開催次第]

司会 根本敏則総務委員会委員長

1 会長挨拶

太田敏澄会長より、開会挨拶。

2 議長の選出

定款31条により、太田会長が議長となる。

3 総会の成立

根本総務委員長より、定款第33条にもとづき、正会員数477名のうち出席会員52名、委任状提出会員80名であり、正会員の1/4を超えているとの報告により、本総会は成立した。

4 議事

審議にあたり、書記(梅原寿夫氏)、議事録署名人(岡田定氏、中井豊氏)を指名され承認された。

下記の各議案につき、議長、各委員長、事務局より報告と提議がなされ、原案通り承認した。

第1号議案 平成17年度 事業報告

第2号議案 平成17年度 収支決算(案)

第3号議案 新役員の承認(理事・会長・監査人)

第4号議案 平成18年度 事業計画(案)

第5号議案 平成18年度 収支予算(案)

その他学会運営に関する事項

<平成17年度学会賞の表彰の実施>

* 表彰者および内容は、本学会通信へ別記してあります。

<平成17年度総会資料>

* HPに公開しています。

【第1号議案 平成17年度事業報告】

[総務委員会所管] (委員長 根本敏則)

○ 委員会構成

- 委員長 根本 敏則(一橋大学)
- 副委員長 梅原 寿夫(東洋オフィスメーション)
- 委員 加藤 茂(セコム)
- 前田 陽子(NTTデータ)
- 前田 隆正(「あすのまち・三鷹」推進協議会)
- 山本 仁志(電気通信大学)
- 味水 佑毅(一橋大学)
- 和泉 恵子(事務局)

1. 総務委員会の開催

○ 第1回総務委員会

日時 平成17年3月14日(月)17:00-19:00

会場 三鷹産業プラザ2階

議題

- ① 理事選挙人名簿確定について
- ② 未納会員への対応
- ③ HPについて
- ④ 広報関連

○ 第2回総務委員会

日時 7月15日(金)17:00-17:30

会場 三鷹産業プラザ2階

議題

- ① 平成17年度収支報告案
- ② 平成17年度事業報告
- ③ 平成18年度事業計画案
- ④ 未納会員、宛先不明者への対応について

2. 定例会議の企画、運営

- ① 会員総会 1回(9/12)
- ② 理事会 7回(11/26、1/21、3/18、5/20、7/1、7/29、8/26)
- ③ 評議員会 1回(8/26)

3. 学会通信の発行

3回発行 Vol.20-1(12月1日) Vol.20-2(4月1日) Vol.20-3(8月10日)

4. ホームページ管理

掲載内容・仕組み、内容充実策検討、リンク等

* 学会賞受賞者一覧掲載。

5. 財務管理

- ・会費の徴収(未納者への督促強化)
 - ・平成17年度収支決算
 - ・平成18年度収支予算作成
- * 経費削減方策の検討による予算への反映

6. 名簿の発行 10月発行

7. 会員管理 *8/末現在

・平成17年度会員増減

種 類	入 会	退 会	
個人正会員	45	50	-5
団体正会員	0	6	-6
計	45	56	

・会員数推移

種 類	16. 8	17. 8	増 減	備 考
個人正会員	429	411	-18	
団体正会員	48	40	-8	
計	477	451	-26	宛先不明28名は除外

8. 事務局体制の変更

常駐なし週2回ほど、メールでは常時対応とした。

[企画委員会所管] (委員長 福田 豊)

○委員会構成

委員長 福田 豊 (電気通信大学)
 上原 施門(山形県立米沢女子短期大学)
 税所 哲郎(関東学院大学)
 河又 貴洋(長崎シーボルト大学)
 永野 寛 (情報通信総合研究所)
 国島 義明(富士通総研)
 山村 俊弘(パスコ)
 佐久間信行(電気通信協会)

◆第1回企画委員会

日 時 2005年1月19日(水) 18:30-20:40
 会 場 電気通信大学西6-501 福田研究室
 議 題

- 1 事業計画
- 2 若手研究会設立について
- 3 その他

出席者 8名(敬称略・順不同)

福田、上原、永野、税所、国島、山村、佐久間、河又

◆第2回企画委員会

日 時 平成17年1月19日(水) 18:30~20:30
 会 場 電気通信大学西6-501 福田研究室
 議 事

- 1 事業計画進捗報告
- 2 若手研究者のための研究会設置について(継続審議)

出席者 7名(敬称略・順不同)

福田、上原、永野、国島、山村、佐久間、河又(電子会議室で参加)

● 第96回定例研究会

- 日時 4月15日(金)
 会場 NHKアーカイブス 公開ライブラリー(西川口)
 テーマ 「通信と放送の融合について」
 講師 吉村俊郎(NHK放送技術研究所 ネットワークシステム部主任研究員)
 テーマ 「デジタル・アーカイブの今後について」
 講師 塚原正彦(常磐大学コミュニティ振興学部助教授)

● 第97回定例研究会

- 日時 4月27日(水) 17:30-20:00
 会場 中央大学駿河台記念館
 テーマ 「ネットワーク空間とリアリティとのハイブリッド結合における新たな展開」
 講師 永野 寛(電気通信大学客員助教授)
 テーマ 「安全・安心を生み出すネットワーク空間の必要条件」
 講師 影井 良貴(日本電信電話株式会社第三部門プロデュース担当担当部長 サイバーセキュリティプロジェクト チーフプロデューサー)
 テーマ 「技術開発の現場から見たユビキタス・ネットワークの今後」
 高木 義則(㈱情報館ワークス常務取締役技術開発センター長)

● 第98回定例研究会

- 日時 5月15日(日) 13:00-17:00
 会場 全国町村会館
 協賛 情報通信月間推進協議会/総務省
 テーマ 「多層化するITのインパクトとコミュニティ」
 総合司会 山村 俊弘(㈱日本アプライドリサーチ研究所)
 研究発表1 「“場”を創る」クラブのネットワークポテンシャル」～FC東京を事例として～
 久保田 淳(FC東京)
 研究発表2 「ユビキタス地域社会における電子自治体の機能と役割」小林 隆(東海大学)
 研究発表3 「インテリジェント・コミュニティ創成のための戦略デザイン」
 前田 隆正(「あすのまち・三鷹」推進協議会)
 研究発表4 「テクノソシオパラダイムの生成—iコミュニティの展望—」
 福田豊(電気通信大学)
 シンポジウム
 コーディネータ 小林宏一 東洋大学
 パネリスト 伊藤達也(内閣府特命大臣(金融))、福田 豊、小林 隆、
 前田隆正、田中秀幸(東京大学)

● 第99回定例研究会

- 日時 平成17年6月10日(金) 13:30-17:00
 会場 長崎シーボルト大学
 協賛 情報通信月間推進協議会/総務省
 テーマ 「ユビキタス社会の諸相—地域における生活空間と情報化—」
 総合司会 山村俊弘(㈱アプライドリサーチ研究所)
 第1部 『ユビキタス社会と地域情報化』
 1-1 「関西における地域情報化の取り組み—地域の情報をどう活性化につなげるか」
 講師 辻 正次(兵庫県立大学) コメンテータ 福田 豊(電気通信大学)
 第2部 『ユビキタス社会における地理情報システム(GIS)アプリケーションの可能性』 北川正
 巳(㈱パソコ)
 2-1 「教育分野におけるGIS利用の可能性」
 全柄徳(チョンピョンドク)(長崎大学教育学部助教授)
 2-2 「地域情報源としてのGIS」

2-3「長崎県のユビキタス社会への取組み」

島村秀世（長崎県総務部参事監（情報政策担当））

第3部 パネルディスカッション

パネリスト 辻 正次、福田 豊、全炳徳、島村秀世、北川正巳

コーディネータ 河又貴洋（長崎県立シーボルト大学）

● 第100回定例研究会

日 時 7月23日（土） 12:30-16:30

会 場 株式会社富士通総研 5階大会議室

テーマ 「生活者の視点と医療情報」

プログラム

総合司会 国島 義明（富士通総研）

研究発表1 「病院機能評価制度について」

河北総合病院理事長 河北博文

研究発表2 「健康づくりふるさと構想」の推進について」

千葉県総合企画部 戦略プロジェクト推進室 副参事 中澤正道

研究発表3 「特定“非営利活動東京地域チーム医療推進協議会について」

国際医療福祉大学教授 阿曾沼元博

研究発表4 「HOT projectについて」

東京都医師会理事（医療情報担当） 大橋 克洋

研究発表5 「医療コーディネーター」

日本医療コーディネーター協会会長 嵯峨崎 泰子

パネルディスカッション

コーディネーター 阿曾沼元博（国際医療福祉大学）

パネリスト 研究発表者各位

◆ 情報政策研究会の実施報告（情報政策研究会 前田隆正）

○メンバー構成

- 1 前田 隆正（「あすのまち・三鷹」推進協議会）
- 2 上田 まゆみ（NTTデータクリエイション）
- 3 梅原 寿夫（東洋オフィスメーション）
- 4 加藤 茂（セコムトラストネット）
- 5 佐藤 文一（東北通建）
- 6 平林 幹朗（キャリア・アップ企画）
- 7 吉井 史郎（クレセント）
- 8 藤田 弥生（NTTデータ）
- 9 大泰司 章（日本電子計算）
- 10 山本 秀男（一橋大学）

○第1回会合

日 時 平成17年2月7日（月） 17:30

会 場 霞ヶ関ビル（第2回情報政策研究会終了後）

出席者 7名（敬称略・順不同）前田、梅原、吉井、藤田、上田、平林、山本

議 題 「情報政策研究会の在り方」

- 1 現状の課題整理と確認
2. 今年度および今後の情報政策研究会について

○第2回会合

日 時 平成17年4月26日（火） 17:30-19:00

会 場 三鷹産業プラザ・地下1階会議室

出席者 7名（敬称略・順不同）前田、梅原、加藤、吉井、藤田、上田、平林

議 題 次回および今後の情報政策研究会について

○第3回会合

日 時 平成17年8月12日（金）16:00-18:00

会 場 三鷹産業プラザ・地下1階会議室

出席者 7名（敬称略・順不同）前田、平林、梅原、加藤、吉井、上田、山本

議 題

1. 第20回全国大会について
2. 平成17年度のレビューによる課題抽出
3. 次年度の第1回の開催案
4. 平成18年度情報政策研究会開催計画（案）

○情報政策研究会

[第1回] 日 時： 平成16年10月25日（月）15:00-17:00

会 場： 中央大学駿河台記念館 320号室

講 師： 中嶋信生 電気通信大学人間コミュニケーション学科 教授

テーマ： 「モバイル・シティとそれを支える技術」

[第2回] 日 時： 平成16年12月6日（月）15:30-17:00

会 場： 中央大学駿河台記念館 330号室

講 師： 牧内勝哉 経済産業省商務情報政策局 情報プロジェクト室長

テーマ： 「e-japan最終局面と日本電子政府」

*情報交流会 同館 「プリオール」

[第3回] 日 時： 平成17年2月7日（月）15:00-16:30

会 場： (株)NTTデータ 会議室（霞ヶ関ビル30階）

テーマ： 「次世代地域情報プラットフォーム」と「自治体情報システム革命」

講 師： 谷史郎 総務省情報通信政策局地方情報化推進室長

[第4回] *第98回定例研究会との合同シンポジウム

日 時： 平成17年5月15日（月）13:00-17:00

会 場： 全国町村会館

協 賛： 情報通信月間推進協議会、総務省

テーマ： 「多層化するITのインパクトとコミュニティ」

総司会 山村俊弘（日本アプライドリサーチ研究所）

発表1 「“場”を創る」クラブのネットワークポテンシャル」

～FC東京を事例として～ 久保田淳（FC東京）

発表2 「ユビキタス地域社会における電子自治体の機能と役割」

小林隆（東海大学）

発表3 「インテリジェント・コミュニティ創成のための戦略デザイン」

前田隆正（「あすのまち三鷹推進協議会」）

発表4 「テクノソシオパラダイムの生成～コミュニティの展望～」

福田豊（電気通信大学）

<シンポジウム>

コーディネータ 小林宏一氏（東洋大学）

パネリスト 伊藤達也（内閣府特命大臣／金融担当）

福田豊、小林隆、前田隆正、田中秀幸（東京大学）

[第5回] 日 時： 平成17年6月13日（月）15:00～16:30

会 場： 中央大学駿河台記念館302号室

テーマ： 「u-Japan政策について」

講 師 吉崎正弘 総務省情報通信政策局総合政策課 課長

[学術委員会所管] (委員長 遠藤 薫)

1. 組織体制

学術委員会 (委員長: 遠藤薫)

- | 一 副委員長: 刀川
- | 一 委員 (全19名)
- | 一 編集専門委員 (委員長: 廣松毅)
 - | 一 副委員長: 岡田 (論文審査担当)
 - | 一 副委員長: 五藤 (編集担当)
 - | 一 副委員長: 佐藤 (規則担当)
 - | 一 委員 (全31名)
- | 一 研究促進専門委員 (委員長: 増田祐司)
 - | 一 副委員長: 中嶋
 - | 一 委員 (全 3名)
- | 一 文献論文選考委員会 (委員長: 小林宏一)

2. 学術委員会開催

[1]第1回学術委員会

- 日 時 平成16年11月9日 (火) 18:00-18:45
会 場 東京大学駒場2号館306号室
議 事 1. 学会発表データベースの移行について
2. 学会ホームページの整備について

[2]第2回学術委員会

- 日 時 平成16年12月13日 (月) 19:00-19:30
会 場 東京大学駒場2号館306号室
議 事 1. 学会発表データベース (J-STAGE) の移行について
2. 学会ホームページの整備について
3. 全国大会

[3]第3回学術委員会

- 日 時 平成17年2月16日 (水) 15:00~16:45
会 場 東京大学駒場2号館306号室
議 事 1 学会発表データベース (J-STAGE) の移行について
2 学会ホームページの整備について
3 全国大会
4 表彰関連
5 未完了項目

[4]第4回学術委員会

- 日 時 平成17年3月28日 (水) 15:00~16:05
会 場 東京大学駒場2号館306号室
議 事 1 学会発表データベース (J-STAGE) の移行について
2 学会ホームページの整備について
3 全国大会
4 表彰関連

[5]第5回学術委員会

- 日 時 平成17年5月16日 (月) 18:15-19:15
会 場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室
議 事 1 学会発表データベース (J-STAGE) の移行について
2 学会発表データベース (J-STAGE) の移行について
3 学会ホームページの整備について
4 全国大会
5 表彰関連

[6]第6回学術委員会

- 日時 平成17年7月4日(月) 18:15-19:25
会場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室
議事 1 学会発表データベース(J-STAGE)の移行について
2 学会ホームページの整備について
3 全国大会
4 表彰関連

[7]第7回学術委員会

- 日時 平成17年7月29日(金) 17:00-18:00
会場 電気通信大学P棟517号室
議題 1 学会発表データベースの移行について
2 学会ホームページの整備について
3 全国大会について
4 表彰関連

3. 学会誌発行状況

≡16-2 2005年2月発行 ≡17-1 2005年8月発行 ≡17-2 2005年9月発行

4. 投稿論文数 ・学術論文:9件(8月24日現在)

5. 採択論文数

・学術論文:7件(過去1年間の状況)(採択率41%)

6. 学位論文賞、論文奨励賞

○学位論文賞:博士論文

・論文賞

朴 英元(東京大学大学院総合文化研究科)

組織のコア・コンピタンスと情報技術の導入・利用ー日韓企業の比較研究

・奨励賞 該当なし

○学位論文賞:修士論文

・論文賞

竹本 正男(電気通信大学大学院情報システム学研究科)

高齢「生活者」のIT社会参画に関する現状と課題

・奨励賞 該当なし

○優秀論文賞 該当なし

○優秀文献賞 該当なし

○論文奨励賞

金 相集(Never Japan)

市民参加型インターネット新聞の社会的認知過程

ー韓国の Ohmynews を事例にしてー

7. 研究部会 環境情報研究部会、複合情報環境研究部会、ISAC研究部会

8. 内規の整備

9. HPの整備

10. その他企画事業

・2005年度学会大会にあわせて、「情報セキュリティ」に関するワークショップを開催(担当:櫻井成一郎)

[表彰委員会所管] (委員長 小菅 敏夫)

・表彰委員会開催

日 時：2005年7月22日 (金) 18:00-19:45

場 所：電気通信大学大学院情報システム学研究科棟中会議室

出席者：5名

小菅委員長、北村副委員長、小林宏一委員、尾関委員、和泉、

協議事項

1. 平成17年度学会各賞の選考

(1) 学会功労賞 前田隆正

(2) 社会情報システム賞 京都府

(3) 優秀文献賞 該当者なし

(4) 優秀論文賞 該当者なし

(5) 論文奨励賞

金 相集 (Never Japan)

市民参加型インターネット新聞の社会的認知過程

－韓国 Ohmynews を事例にして－

(6) 大学院学位論文賞

(学位論文賞：博士論文)

・論文賞

朴 英元 (東京大学大学院総合文化研究科)

組織のコア・コンピタンスと情報技術の導入・利用－日韓企業の比較研究

・奨励賞 該当者なし

(学位論文賞：修士論文)

・論文賞

竹本 正男 (電気通信大学大学院情報システム学研究科)

高齢「生活者」のIT社会参画に関する現状と課題

・奨励賞 該当者なし

(7) 日本社会情報学会・秋山穰賞 該当者なし

(8) 研究発表賞 *第19回全国大会研究発表者から選考された者

「Agent-based Approachによる社会知能の発現に関する考察」

山本仁志、太田敏澄 (電気通信大学)

「社会科学とモデロジーに関する一考察

思考手段としてのシュミレーションの役割の再検討」

岡田勇 (創価大学)、太田敏澄 (電気通信大学)

* 学会賞受賞者一覧をホームページへ掲載

【第2号議案 平成17年度収支決算】

[収入の部]

	科目	17年度予算	17年度実績	対予算
	正会員会費			
1	個人会員	3,183,000	4,082,665	899,665
2	団体会員	2,250,000	2,150,000	-100,000
	(会費計)	5,433,000	6,232,665	799,665
3	雑収入	30,000	610,447	580,447
	収入合計	5,463,000	6,843,112	1,380,112
	前年度繰越	304,113	304,113	
	合計	5,767,113	7,147,225	1,380,112

[支出の部]

	科目	17年度予算	17年度実績	対予算
1	学会誌印刷費	1,250,000	957,600	-292,400
2	研究会開催費	300,000	648,189	348,189
3	全国大会補助金	150,000	150,000	0
4	分科会補助金	200,000	200,000	0
5	学会賞作成費	150,000	76,000	-74,000
6	会員名簿作成費	170,000	195,000	25,000
7	通信費	700,000	521,367	-178,633
8	印刷費	380,000	907,712	527,712
9	事務費(住居費)	180,000	300,000	120,000
10	事務管理費	1,672,000	1,749,865	77,865
11	備品費	60,000	361,920	301,920
12	会議費	10,000	54,197	44,197
13	消耗品費	57,000	399,497	342,497
14	雑費	25,000	76,160	51,160
15	支部補助金	150,000	150,000	0
16	予備費	100,000	0	-100,000
	支出合計	5,554,000	6,747,507	1,193,507
	次年度繰越金	213,113	399,718	186,605
	合計	5,767,113	7,147,225	1,380,112

*次年度繰越金	みずほ銀行	三鷹駅前郵便局	預貯金計
	271,347	128,371	399,718

この平成17年度の収支決算について、監査の結果、正確であることを証する。

平成17年10月11日

監査人

小林

登



監査人

村上

幸栄



【第3号議案 理事・会長選出の承認】

平成17年度理事選出要綱に基づき、次期理事が下記のとおり、平成17年8月26日開催第7回理事会において承認されました。

＜アイウエオ順＞

	氏名	所属機関・部門	備考
1	安藤 明之	東京経済大学コミュニケーション学部 教授	
2	今井 雄一	トッパン・フォームズ(株) 執行役員・企画本部長	
3	内山 哲治	名古屋産業大学環境情報ビジネス学部 教授	
4	海野 忍	(株)NTTデータ 執行役員 第三公共システム事業本部長	
5	遠藤 薫	学習院大学法学部 教授	
6	※太田 敏澄	電気通信大学大学院情報システム学研究科 教授	
7	清原 慶子	三鷹市 市長	
8	熊田 禎宣	千葉商科大学政策情報学部 教授	
9	國領 二郎	慶応義塾大学環境情報学部 教授	
10	小郷 直言	大阪大学大学院経済学研究科 助教授	
11	小菅 敏夫	デジタルハリウッド大学 教授	
12	五藤 寿樹	聖徳大学人文学部現代ビジネス学科 助教授	
13	小林 宏一	東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科 教授	
14	小向 鋭一	東洋オフィスメーション(株) 常務取締役	
15	坂野 達郎	東京工業大学大学院社会理工学研究科 助教授	
16	真田 英彦	追手門学院大学経営学部 教授 総合情報教育センター長	
17	島田 達巳	摂南大学経営情報学部 学部長・教授	
18	須藤 修	東京大学大学院情報学環・学際情報学府 教授	
19	財部 忠夫	中村学園大学流通科学部 教授	
20	玉井 弘明	東日本電信電話(株) ビジネスユーザ事業推進本部 取締役副本部長	
21	茶谷 達雄	都市情報システム研究所 所長	
22	辻井 重男	情報セキュリティ大学院大学 学長	
23	刀川 眞	(株)NTTデータ 開発本部システム科学研究所 主任研究員	
24	富永 英義	早稲田大学大学院国際情報通信研究科 教授	
25	富山 慶典	群馬大学社会情報学部 教授	
26	中井 豊	芝浦工業大学システム工学部 教授	
27	長島 雅則	(株)インフォマティクス代表取締役社長	
28	根本 敏則	一橋大学大学院商学研究科 教授	
29	鳩山 由紀夫	衆議院議員	
30	濱田 純一	東京大学大学院情報学環	
31	平野 浩	学習院大学法学部政治学科 教授	
32	平林 幹朗	キャリア・アップ企画 代表	
33	廣松 毅	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 教授	
34	福田 豊	電気通信大学人間コミュニケーション学科 教授	
35	藤原 博彦	明治大学情報コミュニケーション学部 助教授	
36	前田 隆正	「あすのまち・三鷹」推進協議会 会長(三鷹市・情報政策コーディネーター)	
37	宮崎 緑	千葉商科大学政策情報学部 助教授	
38	安本 哲之助	情報システム監査(株) 参与	
39	山森 俊彦	エヌ・ティ・ティ・データクリエイション(株) 代表取締役社長	
40	渡辺 慶和	岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授	

会長選出要綱に基づき、上記の理事による会長選出投票が、平成17年8月1日より同月10日に行われました。8月12日開催の選挙管理委員会において開票され、遠藤薫氏が選出され、平成17年8月26日開催第7回理事会において承認されました。

【監査人の承認】

監査人 田村紀雄(東京経済大学) 尾関敬二(特別区職員研修所)

【第4号議案 平成18年度事業計画】(案)

[総務委員会所管]

[1]総務委員会構成。

10月末までに、下記の業務分担ごとに構成する。

	主たる担当業務	備考
委員長	全体統括・行事調整・	
副委員長	会議体運営、対外折衝、会員増強	
委員	財務関係、予算決算	
	会計、会費、会員管理、行事通知、規則、事務局	
	事務局補助(会計、行事通知、学会通信)	
	全国大会関係	
	全国大会関係(開催校)	
	HP管理、普及活動	
	HP作成・メンテナンス	
	委員長事務、委員会事務	

*必要に応じ、委員を追加する。

*主要会議体(理事会、評議員会、総会)の運営については、理事会への提案による決定にもとづき役割を分担し実施する。

[2] 事業・業務内容

1. 運営。 *総務委員会の開催。(年間2回以上)
 - ①総務委員会は、学会事務局内へ置く
 - ②各委員会、各支部との連携による運営
2. 主要会議の開催業務
(業務：通知文、通知、出欠、資料、議事録、会場確保・設営)
 - ①理事会
*各委員会からの議題・報告の事前確認
 - ②常任理事会(随時)
 - ③評議員会(年1回：9月)
 - ④会員総会(全国大会開催日の初日) *8月開催理事会にて、議案決定
3. 諸規則の整備
 - ①規則集の作成と関係役員への配布
 - ②主要規則のホームページへの掲載(依頼)。
4. 学会通信の発刊(年3回：12月、4月、8月)
5. 財務管理(予算・決算)
 - ①平成18年度収支決算(月度決算)
*徹底した収支管理をしていく。
*各種通知業務の効率化(メールでの通知の徹底を図る)
 - ②平成19年度収支予算案の作成。(理事会へ提案)
6. 会費の徴収(予算・決算)
 - ①平成18年度・会費の請求(10月)
 - ②未納者への督促・再請求(12月、2月、4月、8月)
 - ③未納者への対応 *サービス停止・除名等を会員へ周知する。
7. 会員管理(既存会員・新入会員、退会会員)
 - ①会員の確認(会員種別：個人正会員、団体正会員)
 - ②会員管理業務の電子化による正確性と対応の迅速化
 - ③HPへのダウンロード可能対応
 - ④会員増強策
8. ホームページへの全体管理、運営
9. その他

【企画委員会所管】

1. 委員会開催

(1) 方針

各研究会の担当（委員構成）明確化による運営

(2) 審議事項

①研究会の活性化について

②年間スケジュール

③各研究会の企画立案

テーマ・形式 講師の折衝（依頼状、発表方法、配付資料）会場案内方法

④当日の運営と報告書作成について

(3) 日程

未定

2. 事業内容

(1) 定例研究会企画実施（年間5回）

(2) 情報政策研究会（年間4回）

(3) 第21回全国大会の開催

(4) その他

①大学院生対象の定例研究会設置について（継続）

②外部に対する普及活動

・各種研究会等の開催スケジュールをホームページで公開

・他学会主催研究会等への参画（後援・共催・協賛等）

③定例研究会の内容見直し（継続）

・研究アクティビティ支援のための定例研究会という性格を強化する

・テーマ設定についての工夫

・会員の学術研究発表の場を作る（継続）

【情報政策研究会】

情報化社会全般の課題解決に向け、この情報政策研究会は、政府が進める情報化施策を把握し、情報化社会の進展への諸課題を検討する研究会を企画する。

・取上げるテーマ

主要省庁の主要施策研究、政府施策の実践的事例（自治体・企業の展開事例）研究を主要テーマとする。

（テーマ候補項目案） u-Japan、EA、セキュリティ、環境・・・／各分野

2007年問題（定例研究会等と合同開催）／厚生労働省

*学会方針をベースに検討し、主要省庁の関係部門に折衝。

・開催予定 年間4回開催予定。 *定例研究会の開催内容勘案。

・参加対象 団体正会員をおよび関係個人正会員

*テーマにより、個人会員および非会員の参加も検討。

*開催内容等により、参加費の徴収も検討。

※以上の骨子内容にて、部会で実施策を検討し理事会へ提案する。

○ 第1回情報政策研究会・情報交流会（予定）

日時 12月5日（月）

会場 未定

テーマ 仮題「自治体CIOの近況報告」

[学術委員会所管]

- [1] 学術委員会の開催 *年5回以上開催する
- [2] 構成 委員長、副委員長、委員
 - ・学術委員会のもとに以下の専門委員会をおく
 - 1. 編集専門委員会
 - 2. 文献論文選考委員会
 - 3. 研究促進委員会
- [3] 事業・業務内容
 - 1. 学会誌の発行
 - 年2回の刊行を定常化し、さらに発行回数の増加をはかる。
 - 2. 学会誌の構成に関する検討
 - 多様なジャンルを検討する。
 - 3. 優秀文献の選考
 - 全国大会における研究発表賞の審査を行う。
 - 学位論文賞の選考。
 - 優秀論文賞の選考。
 - 優秀文献賞の選考。
 - 4. 研究部会
 - 平成18年度は以下の研究部会が継続中である
 - 環境情報研究部会（主査 太田敏澄）
 - 複合情報環境研究部会（主査 遠藤薫）
 - I S A C 研究部会（主査 中嶋開多）
 - 5. 学会発表データベースの移行
 - さらに学会員へのサービス向上が期待される。
 - 6. 横断型基幹科学技術研究団体連合への参加
 - 7. 学術委員会主催のチュートリアル・シンポジウムの開催

[表彰委員会所管]

- 前年度、表彰推薦について表彰該当なしの分野があること、又推薦数が少ないことから会員への周知の方法や広範囲の方々からの推薦依頼をする策を図る。
また、HPの有効活用にも努力する。
- 1. 事業内容
 - 平成18年度の学会賞について、表彰に関する諸規程に基づき、事業の活性化を図りながら次の表彰事業を実施する。
 - ①学会功労賞 ⑤大学院学位論文賞
 - ②優秀文献賞 ⑥社会情報システム貢献賞
 - ③優秀論文賞 ⑦日本社会情報学会・秋山稜賞
 - ④論文奨励賞 ⑧研究発表賞
 - 2. 運営専門委員会
 - 次の専門委員会を設置して行う。
 - ①功労選考委員会（学会功労賞および社会情報システム貢献賞）
 - ②文献論文選考委員会（優秀文献賞、優秀論文賞、論文奨励賞、大学院学位論文賞、および研究発表賞）
 - ③秋山稜賞選考委員会
 - 3. 事業日程等
 - ①表彰候補者の推薦
 - 推薦公募のお知らせは、学会通信への公示によりおこなう。

なお、研究発表賞は、全国大会の研究発表の中から選考する。

②表彰の実施

全国大会の会員総会において行う。

【第5号議案 平成18年度収支予算】

(自 平成17年10月1日 至 平成18年9月30日)

収入の部

	科目	H18年度予算	H17年度実績	備考
	正会員会費			
1	個人会員	3,259,750	4,082,665	53X5,000X0.85+357X10,000X0.85
2	団体会員	2,250,000	2,150,000	
	(会費計)	5,509,750	6,232,665	
3	雑収入	300,000	610,447	
	収入合計	5,809,750	6,843,112	
	前年度繰越	399,718	304,113	
	合計	6,209,468	7,147,225	

支出の部

	科目	予算	H17年度実績	備考
1	学会誌印刷費	1,000,000	957,600	18-1、18-2
2	研究会開催費	600,000	648,189	
3	全国大会補助金	150,000	150,000	
4	分科会補助金	200,000	200,000	横幹、環境情報、複合情報、ISAC
5	学会賞作成費	150,000	76,000	
6	会員名簿作成費	100,000	195,000	19年度名簿作成引当金
7	通信費	500,000	521,367	
8	印刷費	900,000	907,712	
9	事務費(住居費)	300,000	300,000	使用料・光熱費
10	事務管理費	1,260,000	1,749,865	委託費
11	備品費	100,000	361,920	
12	会議費	50,000	54,197	
13	消耗品費	150,000	399,497	
14	雑費	70,000	76,160	
15	支部補助金	150,000	150,000	
16	予備費	100,000	0	
	支出合計	5,780,000	6,747,507	
	次年度繰越金	429,468	399,718	
	合計	6,209,468	7,147,225	

【日本社会情報学会 平成17年度学会賞】
＜平成17年9月12日 表彰＞

☆ 日本社会情報学会・学会功労賞

前田 隆正（「あすのまち・三鷹」推進協議会）

〔表彰事由〕

貴殿は、日本社会情報学会設立以来、本学会の活動の運営に深く係わりその発展に尽くしてこられました。特に理事として現在まで長期にわたり献身的に、学会の運営に、また産官学にまたがる学際的学会活動の理論と実践の要の役割を果たして来られた活動は、目覚ましいものであります。学会「情報政策研究会」の企画運営責任者として社会情報学の課題に対して、特に行政や産業分野の具体的課題を取り上げ検討され多くの示唆をもたらし幅広い分野に多大な貢献をされました。

また、学会活動に優れた指導力を発揮され、会員の啓発にも尽くされ、日本社会情報学会活動への貢献に対して深い敬意を表し、ここに、日本社会情報学会・学会功労賞を贈り表彰します。

☆ 日本社会情報学会 平成17年度・社会情報システム貢献賞（団体）

京都府（代表 知事 山田啓二）

〔表彰事由〕

貴府は、自治体における行財政改革への情報システムの導入において先進的取り組みを行いサービス向上に積極的に努めてきている。特に、業務改革と一体となった情報システム導入を全庁挙げて行い、データ中心の業務分析、二重人力と重複業務・データの排除への取り組み、Web方式の導入による、シン・クライアントを徹底することにより組織改革に柔軟に対応出来ること、また、市町村の情報システムの共同化において中心的役割を果たすと共に、京都府のシステムとの連携を図り、府市町村を通じた業務改革を推進している。さらに、システム開発部門を一元化し、発注者側の意思決定を明確化し、システム設計の中心的役割を果たすことで、調達コストの大幅な削減を図っている。こうした取り組みは、情報化先進自治体として全国的に高い評価を受けています。

以上、貴府のIT施策による電子行政を推進した取り組みと社会情報システムへの貢献に対して深い敬意を表し、ここに日本社会情報学会・社会情報システム貢献賞（団体）を贈り表彰します。

☆ 日本社会情報学会・論文奨励賞

金 相集（Never Japan）

論文標題「市民参加型インターネット新聞の社会的認知過程－韓国の Ohmynews を事例にして－」

〔表彰事由〕

本論文は、インターネット新聞としての Ohmynews (ohmynews.com)が、韓国社会において従来型新聞に匹敵する地位を獲得するに至った社会的過程を検証したものである。本論文については、韓国の既成新聞のメディア特性との関連において、Ohmynews の伸張を論じつつ、いわゆる電子新聞の可能性について示唆的な所見を提示している点が評価され、今後いっそうの理論的検証作業を進めることが期待される。

☆ 日本社会情報学会・学位論文賞（博士論文・論文賞）

朴 英元（東京大学大学院総合文化研究科）

論文標題「組織のコア・コンピタンスと情報技術の導入・利用－日韓企業の比較研究」

〔表彰事由〕

本論文は、組織のコア・コンピタンスと情報技術の利用・導入との相関性を、日本および韓国の企業比較を通じて分析・検討したものである。本論文については、先行研究の

涉猟に加え、綿密なアンケート調査・事例分析をふまえ、「組織と情報」に関わる研究領域にあらたな地平を切り開く水準の内容に仕上がっていること、また、そうした理論的貢献のみならず、日頃ITと経営との適合性問題に腐心している経営者・管理者にとっても示唆的な実践的内容を含むものであることが評価された。

☆日本社会情報学会・学位論文賞（修士論文・論文賞）

竹本 正男（電気通信大学大学院情報システム学研究科）

論文標題「高齢「生活者」のIT社会参画に関する現状と課題」

[表彰事由]

本論文は、高齢生活者のITネットワーク社会への参画をめぐる現状をさぐる中からその課題と可能性を論じたものである。往々にして相容れないものとして捉えられがちの高齢者とIT社会との関連について、本論文では、綿密な聞き取り調査等による実証データの収集および、先行研究の的確な咀嚼をふまえたうえで、堅実な論理構成をもった議論がなされており、研究のいっそうの展開も期待される内容になっているとの評価がなされた。

☆日本社会情報学会第19回全国大会研究発表優秀賞（平成16年9月16-17日発表）

* 山本仁志（電気通信大学）、太田敏澄（電気通信大学）

発表標題「Agent-based Approachによる社会知能の発現に関する考察」

* 岡田勇（創価大学）、太田敏澄（電気通信大学）

発表標題「社会科学とモデロジーに関する一考察

思考手段としてのシュミレーションの役割の再検討」

* 標記の研究発表は、第19回全国大会を対象として選考済みです。

（学会通信 Vol.20-1 2004.12.15 掲載）

* 受賞者の発表要旨は、「第19回全国大会研究発表論文集」に掲載

☆平成18年度・学会賞候補推薦について☆

平成18年度・学会各賞の推薦公募を別記内容にて行います。
各表彰候補の推薦をお願い申し上げます。

日本社会情報学会表彰委員会
委員長 小菅 敏夫

<表彰候補者の推薦締め切り>

種 類	締 切 日	推薦要領掲載案内予定
大学院学位論文賞	18年4月14日(金)	学会通信 12/15、4/1 HP 2/末
優秀文献賞	18年5月26日(金)	学会通信 4/1 HP 2/末
優秀論文賞	同 上	学会通信 4/1 HP 2/末
論文奨励賞	同 上	学会通信 4/1 HP 2/末
学会功労賞	18年6月23日(金)	学会通信 4/1 HP 2/末
社会情報システム貢献賞	同 上	学会通信 4/1 HP 2/末
*「秋山穰賞」		別途選考要綱に基づく

*「秋山穰賞」については、別途実施要綱による選考とする。

*各賞の推薦要領については、別途、学会通信(2006.4.1発行)および学会ホームページに掲載致します。

☆今年度は、別記の通り、総会・全国大会の開催日が9月12,13,14日に予定されていますので、各賞推薦の締切日が早まっていますのでご留意下さい。

[功労選考委員会]

選考区分： ・学会功労賞
・社会情報システム貢献賞

[文献論文選考委員会]

選考区分： ・優秀文献賞
・優秀論文賞
・論文奨励賞
・大学院学位論文賞
・研究発表賞

※各推薦書は、コピー(A4に拡大)してご利用下さい。
また、本学会通信は、ホームページへ掲載しますので、各表彰候補推薦書は、ダウンロードして利用出来ます。

(2月中旬以降)

平成17年12月1日

日本社会情報学会

第9回大学院学位論文表彰候補者の推薦のお願い

日本社会情報学会
会長 遠藤 薫

この度、日本社会情報学会では、表彰規則第2条第1項(5)に定める大学院学位論文賞につき、下記により、平成17年4月1日～平成18年3月31日までの期間におきます学位取得者の大学院学位論文につきましての表彰候補者のご推薦をお願いいたします。なお、本賞につきましては、社会情報学関連大学院ご担当の先生方にも、正会員となっていただくことを条件に、ご推薦の依頼を致しております。

なお、表彰区分は、日本社会情報学会大学院学位論文賞選考要領にもとづき、以下の通りといたします。

- (1) 修士論文・・・大学院学位論文賞(修士)
- (2) 課程博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)
- (3) 論文博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)

また、受賞者には、全国研究発表大会総会において、賞状を授与いたしますとともに、学会通信には、受賞者名、論文題目を、日本社会情報学会誌には、受賞者名、論文題目、学位論文要旨を、それぞれ掲載いたします。

記

- 1. 受付期限 平成18年4月14日(金) *必着
- 2. 推薦先 日本社会情報学会 文献論文選考委員会
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
(株)キャンパスクリエイト 内
日本社会情報学会事務局
TEL/FAX 0422-40-2062
- 3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一部
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
- 4. 添付書類 学位論文四編(論文のコピーで結構です)
同学位審査要旨四通
(修士論文につき1000字程度、博士論文につき2000字程度)
- 5. 推薦者資格 本学会正会員(入会手続中の方も、ご推薦戴くことができます。
この場合、理事会での入会承認を条件として、正会員のお取り扱いを致します。)

以上

表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による大学院学位論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印

(所属) _____

(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX. : _____

E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____

[学位取得者氏名] _____

[学位授与研究科・専攻名]

_____ 大学 _____ 研究科

_____ 専攻

[推薦区分] () 内に○印を付してお示し下さい。

() 修士論文 () 課程博士論文 () 論文博士論文

[推薦事由]

[受付] 平成 年 月 日

受付者氏名

☆ 研究会報告 ☆

[平成18年度 第44回情報政策研究会]

日時 平成18年12月5日(月) 15:00~17:00

会場 中央大学駿河台記念館 「320号室」

テーマ 『自治体CIOの近況報告』

・パネリスト 井堀 幹夫 (市川市/CIO・情報政策監)

前田 隆正 (三鷹市/情報政策コーディネータ)

茶谷 達雄 (都市情報システム研究所所長)

・コーディネータ 平林 幹朗 (学会・理事/キャリア・アップ企画代表)

[平成18年度 情報交流会]

日時 平成17年12月5日(月) 17:30~19:00

会場 中央大学駿河台記念館1階レストラン「プリオール」

☆ 委員会報告 ☆

[総務委員会]

1. 委員会構成

総務委員会委員長：須藤 修 (東京大学)

総務委員会委員： 後藤玲子 (茨城大学) 富山慶典 (群馬大学)

前田隆正 (「あすのまち・三鷹」推進協議会) 和泉恵子 (事務局)

2. 事業・業務内容

1) 運営 *総務委員会の開催(年間2回以上)

①総務委員会は、学会事務局内へ置く

②各委員会、各支部との連携による運営

2) 主要会議の開催業務

(業務：通知文、通知、出欠、資料、議事録、会場確保・設営)

①理事会

*各委員会からの議題・報告の事前確認

②常任理事会(随時)

③評議員会(年1回：9月)

④会員総会(全国大会開催日の初日) *8月開催理事会にて、議案決定

3) 諸規則の整備

①規則集の作成と関係役員への配布

②主要規則のホームページへの掲載(依頼)。

4) 学会通信の発刊(年3回：12月、4月、8月)

5) 財務管理(予算・決算)

①平成18年度収支決算(月度決算)

*徹底した収支管理

*各種通知業務の効率化(メールでの通知の徹底を図る)

②平成19年度収支予算案の作成。(理事会へ提案)

6) 会費の徴収(予算・決算)

①平成18年度・会費の請求(10月)

②未納者への督促・再請求(12月、2月、4月、8月)

③未納者への対応 *サービス停止・除名等を会員へ周知する。

7) 会員管理(既存会員・新入会員、退会会員)

- ①会員の確認（会員種別：個人正会員、団体正会員）
- ②会員管理業務の電子化による正確性と対応の迅速化
- ③HPへのダウンロード可能対応

④会員増強策

8) ホームページの全体管理、運営

[企画委員会]

1. 委員会構成

企画委員会委員長：福田 豊（電気通信大学）

企画委員会委員： 河又貴洋（長崎県立シーボルト大学） 国島義明（㈱富士通総研）
佐藤佳弘（㈱情報文化総合研究所） 増渕勝典（調布市）

2. 事業計画

1) 委員会開催

(1) 方針

各研究会の担当（委員構成）明確化による運営

(2) 審議事項

①研究会の活性化について

②年間スケジュール

③各研究会の企画立案

テーマ・形式 講師の折衝（依頼状、発表方法、配付資料）会場案内方法

④当日の運営と報告書作成について

(3) 日程未定

2) 事業内容

(1) 定例研究会企画実施（年間5回）

(2) 情報政策研究会（年間4回）

(3) 第21回全国大会の開催

(4) その他

①大学院生対象の定例研究会設置について（継続）

②外部に対する普及活動

・各種研究会等の開催スケジュールをホームページで公開

・他学会主催研究会等への参画（後援・共催・協賛等）

③定例研究会の内容見直し（継続）

・研究アクティビティ支援のための定例研究会という性格を強化する

・テーマ設定についての工夫

・会員の学術研究発表の場を作る（継続）

3. その他

● 平成18年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）申請

○ 国際シンポジウム開催

● H18年度情報通信月間行事参加

○ 5月九州 ○ 6月東京

[情報政策研究会]

1. 委員会構成

1. 委員会構成

主査 前田隆正 (三鷹市)

委員 上田まゆみ (NTT データクリエーション) 梅原寿夫 (東洋オフィスメーション)
 加藤 茂 (セコムトラストネット) 佐藤文一 (東北通信建設)
 茶谷達雄 (都市情報システム研究所) 平林幹朗 (キャリアアップ企画)
 藤田弥生 (NTT データ) 山本秀男 (一橋大学大学院)
 吉井史郎 (千葉県情報サービス産業協会)

2. 事業計画

情報化社会全般の課題解決に向け、この情報政策研究会は、政府が進める情報化施策を把握し、情報化社会の進展への諸課題を検討する研究会を企画する。

・ 取上げるテーマ

主要省庁の主要施策研究、政府施策の実践的事例 (自治体・企業の展開事例) 研究を主要テーマとする。

(テーマ候補項目案) u-Japan、E.A、セキュリティー、環境・・・/各分野
 2007年問題 (定例研究会等と合同開催) /厚生労働省
 *学会方針をベースに検討し、主要省庁の関係部門に折衝。

・ 開催予定 年間4回開催予定。 *定例研究会の開催内容勘案。

・ 参加対象 団体正会員をおよび関係個人正会員

*テーマにより、個人会員および非会員の参加も検討。

*開催内容等により、参加費の徴収も検討。

[学術委員会]

1. 委員会構成

学術委員会委員長：廣松 毅 (東京大学) 副委員長：刀川 眞 (㈱NTTデータ)

学術委員会委員：赤堀 侃司 (東京工業大学) 阿部 昭博 (岩手県立大学)

(アイウエオ順) 安藤 明之 (東京経済大学) 和泉 潤 (名古屋産業大学)

遠藤 薫 (学習院大学) 太田 敏澄 (電気通信大学)

岡田 勇 (創価大学) 兼田 敏之 (名古屋工業大学)

木村 忠正 (早稲田大学) 熊田 禎宣 (千葉商科大学)

小菅 敏夫 (デジタルハリウッド大学) 小林 宏一 (東洋大学)

五藤 寿樹 (聖徳大学) 櫻井成一朗 (明治学院大学)

佐藤 佳弘 (情報文化総合研究所) 島田 達巳 (摂南大学)

須藤 修 (東京大学) 田中 秀幸 (東京大学)

寺野 隆雄 (東京工業大学) 富山 慶典 (群馬大学)

中井 豊 (芝浦工業大学) 中嶋 開多 (信州大学)

新川 達郎 (同志社大学) 根本 敏則 (一橋大学)

氷鉋揚四郎 (筑波大学) 福田 豊 (電気通信大学)

増田 祐司 (島根県立大学) 松井 啓之 (京都大学)

松川 淳子 (生活構造研究所) 山本佳世子 (名古屋産業大学)

■ 学会誌編集専門委員会

学会誌編集専門委員会委員長：五藤 寿樹 (聖徳大学) 副委員長：岡田 勇 (創価大学)

学会誌編集専門委員会委員：安藤 明之 (東京経済大学) 遠藤 薫 (学習院大学)

太田 敏澄 (電気通信大学)	兼田 敏之 (名古屋工業大学)
木村 忠正 (早稲田大学)	小菅 敏夫 (デジタルリット大学)
小林 宏一 (東洋大学)	坂野 達郎 (東京工業大学)
櫻井成一郎 (明治学院大学)	佐藤 佳弘 (情報文化総合研究所)
刀川 眞 (㈱NTT データ)	田中 秀幸 (東京大学)
寺野 隆雄 (東京工業大学)	中井 豊 (芝浦工業大学)
中嶋 聞多 (信州大学)	根本 敏則 (一橋大学)
廣松 毅 (東京大学)	福田 豊 (電気通信大学)
藤原 博彦 (明治大学)	

■研究促進専門委員会

研究促進専門委員会委員長：増田 祐司 副委員長：佐藤 佳弘

研究促進専門委員会委員：全員昨年度からの継続。必要に応じて適宜追加

■優秀文献選考委員会

優秀文献選考委員会委員長：小林 宏一 副委員長：田中 秀幸

優秀文献選考委員会委員：全員昨年度からの継続。必要に応じて適宜追加

2. 平成 18 年度事業計画

[1] 学術委員会の開催 *年 5 回以上開催する

[2] 構成 委員長、副委員長、委員

・学術委員会のもとに以下の専門委員会をおく

- 1) 編集専門委員会
- 2) 文献論文選考委員会
- 3) 研究促進委員会

[3] 事業・業務内容

1) 学会誌の発行

年 2 回の刊行を定常化し、さらに発行回数の増加をはかる。

2) 学会誌の構成に関する検討

多様なジャンルを検討する。

3) 優秀文献の選考

全国大会における研究発表賞の審査を行う。

学位論文賞の選考

優秀論文賞の選考

優秀文献賞の選考

4) 研究部会

平成 18 年度は以下の研究部会が継続中である。

環境情報研究部会 (主査 太田敏澄)

複合情報環境研究部会 (主査 遠藤薫)

I S A C 研究部会 (主査 中嶋聞多)

5) 学会発表データベースの移行

さらに学会員へのサービス向上が期待される。

6) 横断型基幹科学技術研究団体連合への参加

7) 学術委員会主催のチュートリアル・シンポジウムの開催

■第 1 回学術委員会議事録

<日時> 平成17年10月11日(火) 18時15分～18時35分

<会場> 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室

<出席者> 安藤明之(東経大) 遠藤薫(学習院大) 岡田勇(創価大) 五藤寿樹(聖徳大) 小林宏一(東洋大) 桜井成一郎(明治学院) 佐藤佳弘(武蔵野大) 刀川眞(NTTデータ) 中井 豊(芝浦工大) 廣松毅(東大)〔敬称略〕 (文責:刀川) <議事>

1 前会議事録の承認

(1)了承

2 学会発表データベース(J-STAGE)の移行について

(1)凸版フォームでデータ入力を終了し、現在、整形処理中。処理を早めるようpush→五藤

3 学会ホームページの整備について

(1)特になし

4 全国大会

(1)次回は9月上旬に学習院で行う。

5 その他

(1)今期学術委員長は廣松先生、論文選考委員長は小林先生とする。学術委員内部の役割分担は、遠藤会長、廣松学術委員長で検討する。

(2)もう一方の社情学会、情通学会、情報文化学会などと協力するよう努める。

(3)次回委員会：平成17年12月6日(火)18:00～東京大学駒場キャンパス2号館3階で行う。

[表彰委員会]

1. 委員会構成

委員長 小菅 敏夫(デジタルハリウッド大学) 副委員長 北村 歳治(早稲田大学)

委員 小林 宏一(東洋大学) 前田 隆正(「あすのまち・三鷹」推進協議会)

太田 敏澄(電気通信大学)

2. 平成18年度事業計画

前年度、表彰推薦について表彰該当なしの分野があること、又推薦数が少ないことから会員への周知の方法や広範囲の方々からの推薦依頼をする策を図る。

また、HPの有効活用にも努力する。

1) 事業内容

平成18年度の学会賞について、表彰に関する諸規程に基づき、事業の活性化を図りながら次の表彰事業を実施する。

- | | |
|--------|----------------|
| ①学会功労賞 | ⑤大学院学位論文賞 |
| ②優秀文献賞 | ⑥社会情報システム貢献賞 |
| ③優秀論文賞 | ⑦日本社会情報学会・秋山穰賞 |
| ④論文奨励賞 | ⑧研究発表賞 |

2) 運営専門委員会

次の専門委員会を設置して行う。

- ①功労選考委員会(学会功労賞および社会情報システム貢献賞)
- ②文献論文選考委員会(優秀文献賞、優秀論文賞、論文奨励賞、大学院学位論文賞、および研究発表賞)
- ③秋山穰賞選考委員会

3) 事業日程等

①表彰候補者の推薦

推薦公募のお知らせは、学会通信への公示によりおこなう。

なお、研究発表賞は、全国大会の研究発表の中から選考する。

②表彰の実施

全国大会の会員総会において行う。

第12回社会情報システム学シンポジウム
参加者募集

主催 社会情報システム学研究会
共催 経営情報学会 社会情報と情報組織化研究部会
日本社会情報学会 環境情報研究部会
電気通信大学 Social Informatics (社会情報学) 研究ステーション

社会情報システム学研究会では、平成18年1月27日(金)に、第12回社会情報システム学シンポジウムを、経営情報学会「社会情報と情報組織化」研究部会、日本社会情報学会「環境情報」研究部会、電気通信大学 Social Informatics (社会情報学) 研究ステーションと共催にて、開催する予定です。

本シンポジウムでは、特別講演を行いますとともに、社会情報システム学に関する最先端の研究発表を公募いたしまして、採用の論文につきまして、学術講演論文集を発行いたします。

ご関心のあります多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

記

日時：平成18年1月27日(金) 10:30~17:00

会場：電気通信大学情報システム学研究科棟2F233(大会議室)、中会議室

(〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1、

京王線：調布駅(北口)下車、徒歩9分、

大学ご案内図 URL <http://www.uec.ac.jp/acc/map.html>

キャンパスご案内図 URL <http://www.uec.ac.jp/acc/campusnai.html>

プログラム：

10:30~12:00 一般セッション講演
12:00~13:00 休憩
13:00~16:15 一般セッション講演
16:30~17:30 特別講演 根本敏則(一橋大学大学院商学研究科教授)
「ユビキタス時代の課税のあり方
ー高速道路衛星課金などを事例としてー」

懇親会：18:00~19:30 ハルモニア(学生会館3階、学内)

参加費：個人3,000円、登壇者5,000円、法人10,000円、懇親会費5,000円

※事前振込の場合、各500円引きとなります。

2006年1月20日(金)までにお振り込みの上、受領証をお持ち下さい。

郵便振込口座番号 00150-2-539320 社会情報システム学研究会

<一般セッション講演論文応募規定概要>

・Web上の画面にて、300字程度の要約および必要事項を記入の上、平成18年11月25日(金)(必着)までに、お申し込み下さい。なお、WebのURLは、

URL: <http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/>です。

・Webをご利用戴けない場合は、okada@soka.ac.jpにご連絡ください。

・郵送による発表申込書送付先：

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236

創価大学経営学部 岡田 勇 宛

・採否を通知いたします。郵送の方は、返信用葉書に宛名をご記入の上、ご同封下さい。

・採用の方は、平成18年1月6日(金)必着にて、カメラレディ原稿をお送り下さい。

・カメラレディ原稿は、A4版6枚で、図表を含みます。段組などは自由です。

<お問い合わせ先> 社会情報システム学研究会事務局

研究会代表 太田敏澄 Fax&Tel: 0424-43-5660 e-mail: ohta@is.uec.ac.jp

電気通信大学 大学院情報システム学研究科 情報システム運用学専攻

社会情報システム学講座 URL: <http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/>

☆ 事務局たより ☆

平成 17 年度の各事業は、各会員の皆様のご協力により、例年になく充実した内容で終わることが出来ました。

また、事務局業務へも一方ならずご協力を戴き厚く御礼申し上げます。

§ アドレス・郵送先変更他

アドレス、郵送先変更の場合はご連絡をお願いいたします。

PC 入替につきまして、ML を更新いたしました。

つきましては、配信されていない場合にはお手数ですがご連絡をお願いいたします。

§ 会費納入のお願い

今年度の会費をご請求させて頂きましたので、よろしくご納入の手続きをお願い申し上げます。

過年度の会費がご事情により未納の会員の方へ、再度、ご確認の上、ご納入のほどお願い申し上げます。ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。会費収入が滞りますと、事業運営に多大な影響を及ぼします。

主旨ご理解の上、重ねてよろしくお願い申し上げます。

§ 事務局体制変更につきまして

平成 17 年度より事務局体制が変わりました。常駐はなく、月曜日を含む週 2 日ほどです。メールでの対応はその限りではありません。

§ 会員皆様からの学会の運営・事業・組織拡充に対するご意見、ご助言を戴きたくお願い申し上げます。 宛先 TEL/FAX 0422-40-2062 E-mail jasi@jade.dti.ne.jp
